

中長期ビジョン素案原稿事前質疑に対する回答一覧

No.	質 疑	回 答	関連ページ
1	ウォーター P P P について、Y M - Z O P ※の活動が日経新聞（令和 7 年 3 月 1 日）に取り上げられたが、現在上下水道局との関係等説明願いたい。 ※株式会社 Y M F G Z O N E プラニング の略称（ワイエムゾップ）	3 月 1 日の日本経済新聞に掲載されておりました「インフラ PPP 研究会」は、インフラ分野（上下水道、道路、橋梁等）の官民連携の促進を強化する目的で全国にある「PPP/PFI 地域プラットフォーム」の一つである「山口地域 PPP/PFI 官民連携プラットフォーム」の部会として立ち上げられたと聞いております。 「PPP/PFI 地域プラットフォーム」とは、地域の行政、金融機関、企業、大学等の関係者が集い、PPP/PFI 事業のノウハウ取得や官民対話等の情報交換の場となるもので、本市も「山口地域 PPP/PFI 官民連携プラットフォーム」の代表者の一員として参加しております。 上下水道局と「インフラ PPP 研究会」の関係ですが、「PPP/PFI 地域プラットフォーム」の目的のとおり国、他自治体、金融関係、企業等との意見交換の場として活用しているものです。 なお、下水道事業の投資以外の経費として、中長期ビジョン素案原稿（P95）に掲載している「ウォーター PPP 導入検討に係る費用」とは、ウォーター PPP の導入可能性調査及び発注支援業務に係る費用のみとなります。 ※本研究会参加に当たり上下水道局の費用負担はありません。 【担当：下水道管路課】	5 2 ページ 第 5 章 基本施策に基づく具体的な取組 施策（4）官民連携の推進 7 2 ページ 第 6 章 投資計画と財政計画 6 - 6 効率化・経営健全化のための取組 （2）今後の取組方針

No.	質 疑	回 答	関連ページ
2	埼玉県八潮市の事故を受け、市（市議会を含む。）として何らかのアクションの有無、市民に対応する広報等の現状を説明願いたい。	本市には、国土交通省が要請する緊急点検の対象となる大規模な下水道施設はなく、また、維持修繕基準に基づき定期的な点検調査を行っておりますが、自主的に緊急点検を実施しました。 点検の期間は、1月31日から2月14日まで。 対象施設は、①腐食環境下の管路として171箇所 ②口径800mm以上の管路に接続するマンホール38箇所です。 点検の結果、2箇所のマンホール内で腐食の進行が見受けられたものの、直ちに道路陥没に至るような異常は確認されませんでした。 結果については、令和7年第1回定例会の建設消防委員会（2月21日）で報告すると共に市ホームページ及びSNS等で広報しております。 【担当：下水道管路課】	